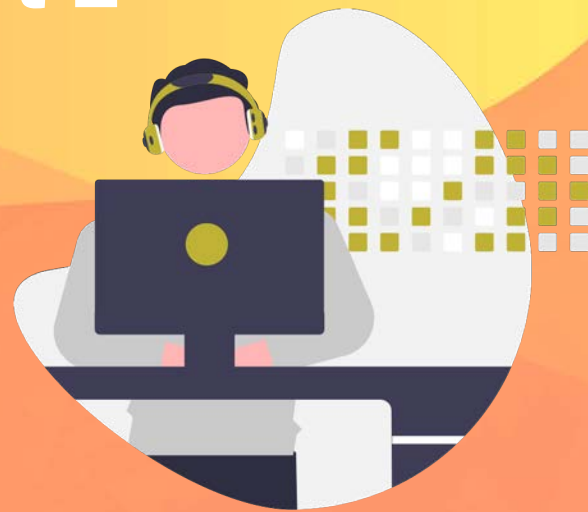


ChatGPTは教育に活用できる？ 事例とその可能性を紹介Part 1



CONTENTS

目次

第一章

ChatGPTとは／ ChatGPTは教育に活用できる？

第二章

教育におけるChatGPT活用事例

第三章

ChatGPT×教育活用のメリットとは

第四章

デジタル・ナレッジにおける
ChatGPT×教育活用の取り組み

はじめに

オンライン教育の利用が爆発的に増えています。新型コロナウイルスの影響でテレワークが推奨されたことがきっかけとなり、教育機関における“遠隔教育”や組織（企業・官公庁など）の“社員教育”にオンラインを活用するケースがこれまで以上に増加したことが背景にあります。そこでデジタル・ナレッジでは、本資料を含むホワイトペーパーの資料にて、オンライン教育・研修の導入を検討されている組織・教育機関の皆さまに向けて、市場調査の支援として様々なテーマでお役立ち情報をまとめております。基礎知識や導入のポイントを分かり易く解説いたします。ぜひご覧ください。

第一章

ChatGPTとは / ChatGPTは教育に活用できる？

2022年11月に発表されて以来、世界中で話題となっているChatGPT。既存のビジネスのあり方を大きく変える革新的なサービスとして、大きな注目を集めています。

とりわけ、教育現場でChatGPTを活用することについては、さまざまな議論がなされています。

実際のところ、ChatGPTは教育にどのように活用できるのでしょうか？

また、教育現場でChatGPTを活用する場合、どのようなことに気を付けるべきなのでしょうか？

ここでは、教育現場におけるChatGPTの活用事例とメリットについて解説していきます。



ChatGPTとは



ChatGPT（チャットジーピーティー）、まるで人間のように自然なやり取りができるAIチャットサービスです。

米OpenAI社によって2022年11月に発表されるとたちまち話題となり、わずか2ヶ月でアクティブユーザ数1億人を突破しました。

ChatGPTの凄いところは、なんといっても高い言語処理能力にあります。

質問応答、要約、翻訳、アイデア提案、ブレインストーミングなどにおいて、人間が自然と感じる会話、回答の生成ができます。

自然言語を話すために作られた生成AIとして、驚くほど精度の高い出力が可能です。

ChatGPTとは

ChatGPTの元となっているのは、OpenAI社が開発した大規模な自然言語処理モデルです。大量のデータを学習しているため、従来のチャットボットとは違い、話の流れ、文脈、質問の意図まで読み取って受け答えをしてくれる点が特徴です。

2022年11月にリリースされた無料で使える従来型モデル「GPT-3」「GPT3.5」に続き、2023年3月にはさらに性能が向上した「GPT-4」（有料版：月額20ドル）が、2023年8月には企業向けの「ChatGPT Enterprise」が提供開始され、注目度はますます高まっています。

ChatGPTは教育に活用できる？

話題となっているChatGPTですが、その活用先の1つとして注目されているのが「教育」です。ChatGPTを活用することで、これまでの教育では実現できなかった新しい学びが可能になり、多くのメリットや効果を生み出すことが期待されています。

すでに先行する教育機関において授業に試験的に導入されたり、校務のサポートに使用されたりしています。また、世界中の企業においてChatGPTを活用した教育サービスの開発も進められている状況です。

第二章

教育におけるChatGPT活用事例

教育におけるChatGPT活用事例

ここで、実際にChatGPTを活用した教育事例をいくつかご紹介します。

言語学習

ChatGPTは非常に多数の言語をカバーしているため、新しい言語を学ぶ際の学習支援ツールとして使うことができます。

意味がわからない単語や文法につまずいても、ChatGPTがすぐに答えを表示し、的確な解説をしてくれます。

また、ChatGPTは文章生成だけでなく、文章評価や音声評価をすることもできるため、学習者が作った英作文を正しい英文かどうか自動採点してくれたり、発音練習のサポートもしてくれます。

ChatGPTによる自然な会話練習により、学習者は自分のペースでコミュニケーションスキルを向上させることができます。

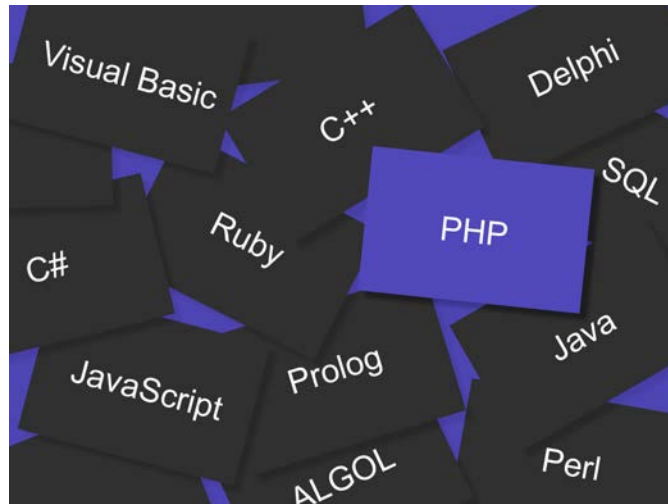
プログラミング学習

プログラミング学習にもChatGPTは効果的です。エラーが発生した場合、ChatGPTが原因を分析し、解決策を提示してくれます。

コードの例も提供してくれるほか、プログラミングの実行自体をChatGPTの画面上で可能なので、効率的にプログラム作成ができます。

質問にも24時間答えてくれるので、教員やTAの負担軽減にもつながりますし、挫折しがちなプログラミング学習でも、ChatGPTがあれば一人でプログラムを書くことができます。

このように、ChatGPTは初学者や文系の学生、プログラミングに苦手意識を持つ人の学習のサポートツールやメンターとしても活用できます。



教材作成支援



ChatGPTを活用することで、単元や学習者のレベルに合わせたテスト問題を簡単に作成することができます。

類題を多数作問したり、○×形式、選択問題、穴あき問題などに作り変えるのもChatGPTが得意とするところです。

また、海外向けの多言語教材も自動翻訳機能ですばやく作成できます。テスト問題だけでなく、授業内容のより分かりやすい解説や、個別指導に使うための教材を作成することもできます。

企業における社員研修の教材やカリキュラム作成にもChatGPTは使えます。社内にPowerPointなどの資料がすでにある場合、それを元にテスト問題を作成したり、資料に適切な内容を肉付けしてカリキュラムに落とし込み、コース設計をするところまでChatGPTで半自動化できます。

第三章

ChatGPT×教育活用のメリットとは？

ChatGPT × 教育活用のメリットとは

教育にChatGPTを活用するメリットはたくさんありますが、注目すべき視点は次の2つです。

今まで不可能だった個別指導が可能に 教員の負担軽減・働き方改革へ

前述したように、ChatGPTを使えば次のようなことが可能です。

- ・ 学習者の質問に24時間対応可能
- ・ 学習者のレベルに合わせた問題出題
- ・ 学習者の理解度に応じた個別指導
- ・ 学習者のペースにあわせた学習支援

つまり、従来は難しかった、「学習者1人1人の理解を深めるための個別教育」が実現できます。

従来から、個別教育は学習者1人1人の理解を深めるために最適な手法とされてきましたが、実際には費用面の問題もありなかなか実現には至りませんでした。

それがここに来てAIの進化、ChatGPTのサービス化により、実現可能となってきています。

もう1つのポイントは、**教員の負担軽減や働き方改革につながる**という視点です。

学校の先生には授業だけでなく、膨大な業務が存在します。授業用プリントやテストの作成、通知表や調査書の作成、生活指導、進路指導、行事運営、保護者対応など、数え上げればきりがありません。ChatGPTを活用すれば、各種プリントや定型文書の作成、行事の企画・進行表のドラフト作成などを任せることができます。

実際に、個人面談や家庭訪問の日程調整をChatGPTに任せているという事例も報告されています。各家庭から提出された訪問希望日と、家庭の住所などを条件指定しChatGPTに入力すると、効率の良い家庭訪問スケジュールをChatGPTが作成してくれるというものです。サンプルデータの作成のような、それ自体にはあまり意味がない作業をChatGPTに代替させることも、業務の効率化につながります。

先生の働き方改革が問題となる中、ChatGPTを効果的に活用できればメリットは大きいと考えられます。

第四章

デジタル・ナレッジにおける
ChatGPT×教育活用の取り組み

デジタル・ナレッジにおける ChatGPT×教育活用の取り組み

デジタル・ナレッジでは、ChatGPTを活用した教育サービスをすでに開発・提供しております。
ここでは2つの取り組みをご紹介します。

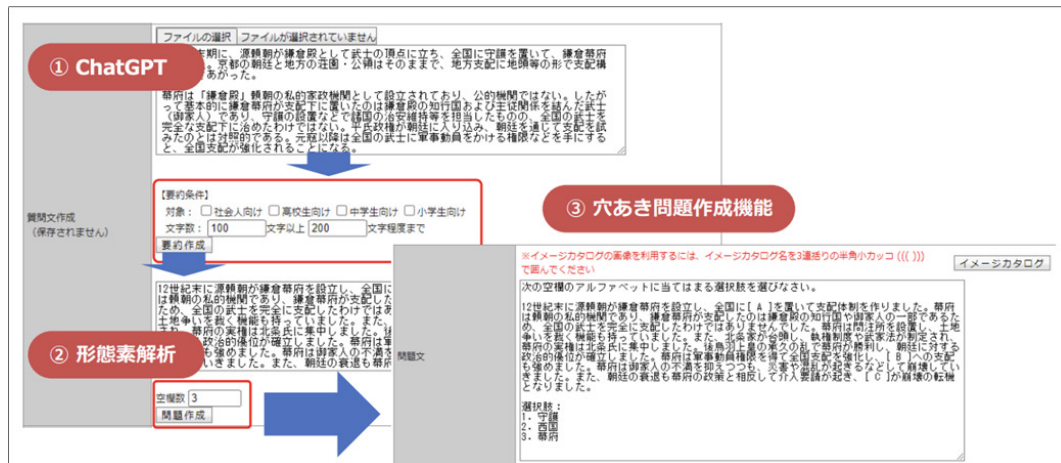


<https://torepa.jp/ja/>

トレパJは、ChatGPTと連動し、自然会話まで実現した最新の日本語学習用ソリューションです。

ChatGPTとの自然な会話により、日本語を効果的に学習できるツールとして、すでに海外や国内の外国人向け教育に活用されています。2023年3月には、トレパJを活用した海外の学生が現地の日本語弁論大会でTOP3を独占するなど、高い効果を上げています。

ChatGPTで教材作成が可能なLMS『KnowledgeDeliver』 ChatGPTとの連携により、学習管理システム『KnowledgeDeliver』 上で半自動的にテスト問題を作成する機能を搭載しました。



画像のように、条件（対象者・問題の文字数・空欄数）に合致した穴あき問題を簡単に自動生成することが可能です。今後は、PowerPoint内のテキストや映像内のセリフを抽出して自動的にテスト問題を作成したり、LMSへの問題登録まで、すべてChatGPTが半自動的に実施できるよう開発をすすめています。

ChatGPTを使った教材作成は、現在、非常にお問い合わせが増えている分野です。

教育現場でChatGPTの活用を検討されている方、具体的な事例・使い方を知りたい方、自社にあったより効果的な導入をお考えの方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

皆さまからのご連絡をお待ちしております

メールで質問

infoadmin@d-k.jp

電話で質問

導入の
ご相談 **050-3628-9240**

その他 **03-5846-2131**

サイトを見る

デジタル・ナレッジ

検索